

「2016年夏季オリンピック開催地
に関する全国意識調査」
(調査結果の概要)

世論調査 市場調査の専門機関である社団法人 中央調査社（会長 若林 清造）は、「2016年夏季オリンピック開催地に関する全国意識調査」を実施しました。調査は、7月7日から10日にかけて、無作為に選んだ全国の18歳以上の2,052人を対象に面接聴取法で行い、1,411人から回答を得ました。主な調査結果は以下のとおりです。

調査項目

東京都と福岡市の立候補の周知

～ 4人に3人の割合で周知～

東京都と福岡市のどちらがふさわしいか

～ 「東京都」41%、「福岡市」32%～

ふさわしい理由

東京都は「交通網の充実」「国際的な知名度」

福岡市は「地方の活性化」「東京都では一度開催」

2006年8月3日

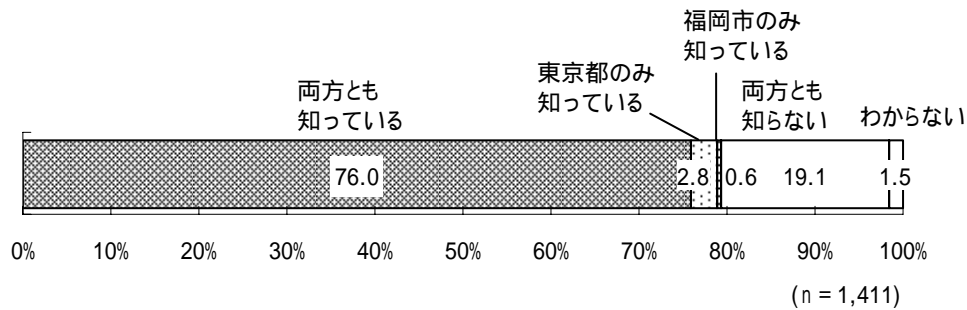
社団法人 中央調査社

CENTRAL RESEARCH SERVICE, INC.

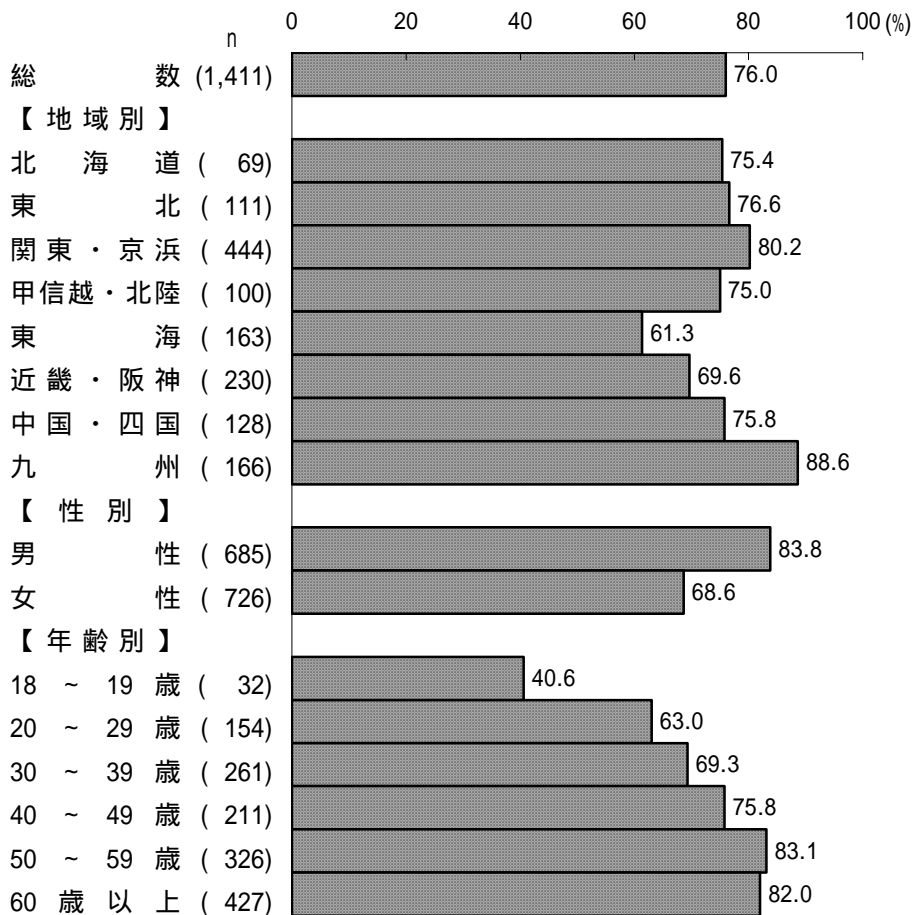
1) 東京都と福岡市の2016年夏季オリンピック開催地への立候補の周知

- ・「両方とも知っている」が76%と、東京都と福岡市の立候補の周知は4人に3人の割合となっている。
- ・「両方とも知っている」割合は、地元である関東・京浜80%、九州89%と高い。低いのは東海の61%である。
- ・「両方とも知っている」割合は、性別では男性で高く、年齢別では年代が高いほど高くなり、50代以上では8割を超えている。

質問：あなたは、2016年の夏季オリンピック開催地に、日本国内では東京都と福岡市が立候補していることをご存知ですか。



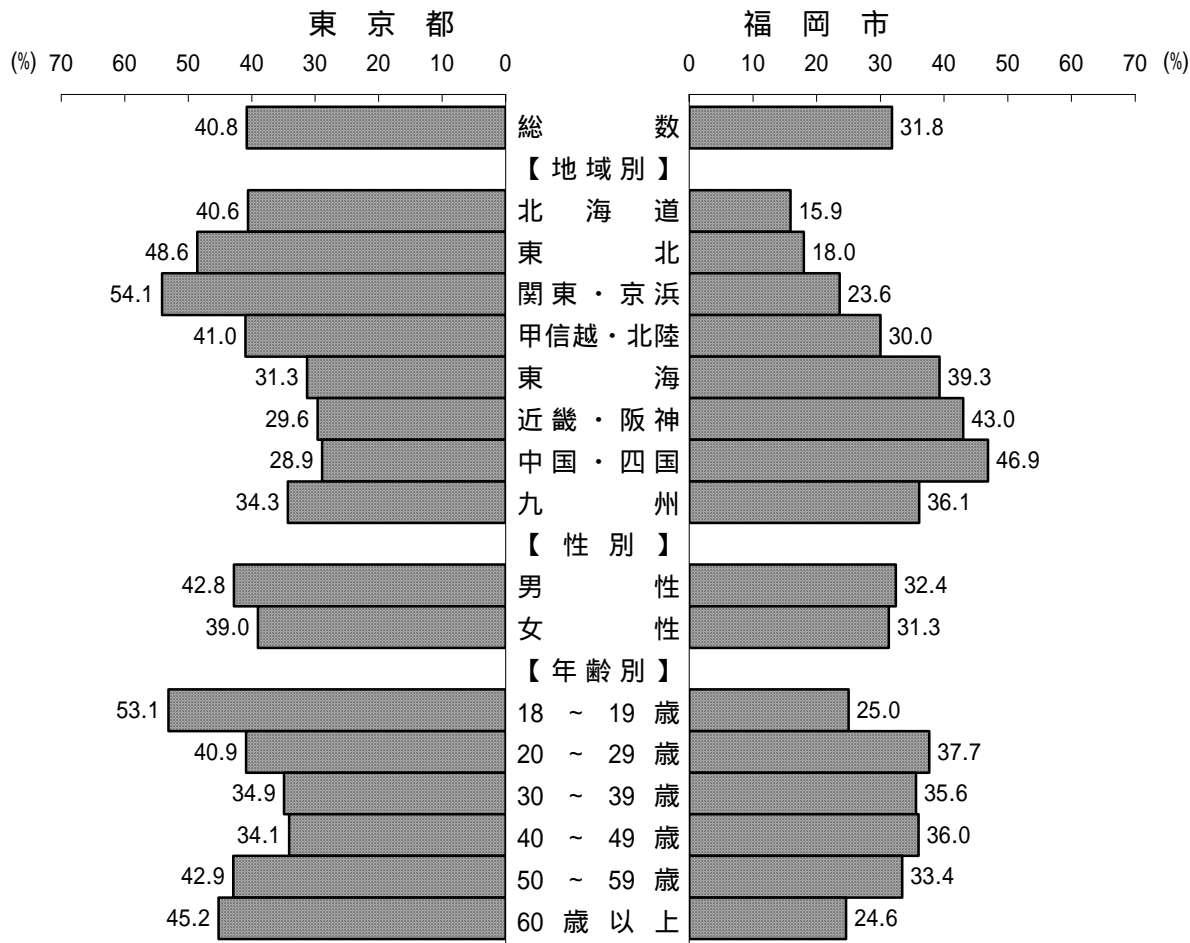
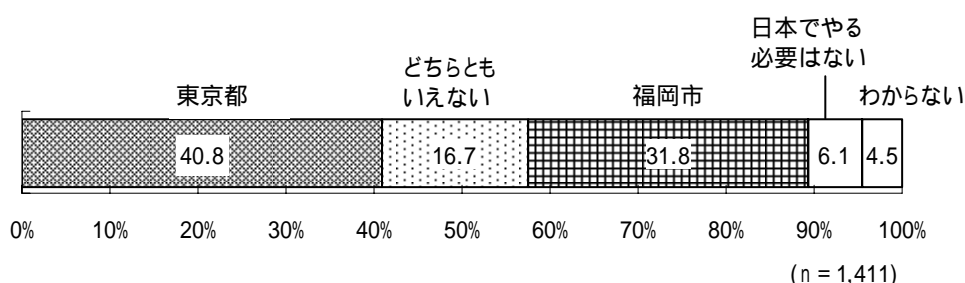
【両方とも知っていると回答した人の割合】



2) 2016年夏季オリンピックの開催地として東京都と福岡市ではどちらがふさわしいか

- ・「東京都」が41%、「福岡市」が32%で、「東京都」が「福岡市」を9ポイント上回っている。
- ・「東京都」の割合が高いのは、関東・京浜（54%）をはじめ、東北（49%）、甲信越・北陸（41%）、北海道（41%）と、北海道から北陸にかけては「東京都」が優勢。
- ・「福岡市」の割合が高いのは、中国・四国（47%）、近畿・阪神（43%）、東海（39%）、九州（36%）で、東海から西の地域では「福岡市」が優勢。
- ・20代以下の若い年代と50代以上の年代では「東京都」の割合が「福岡市」より高い。

質問：あなたは、2016年夏季オリンピックの開催候補地として、東京都と福岡市ではどちらがふさわしいと思いますか。

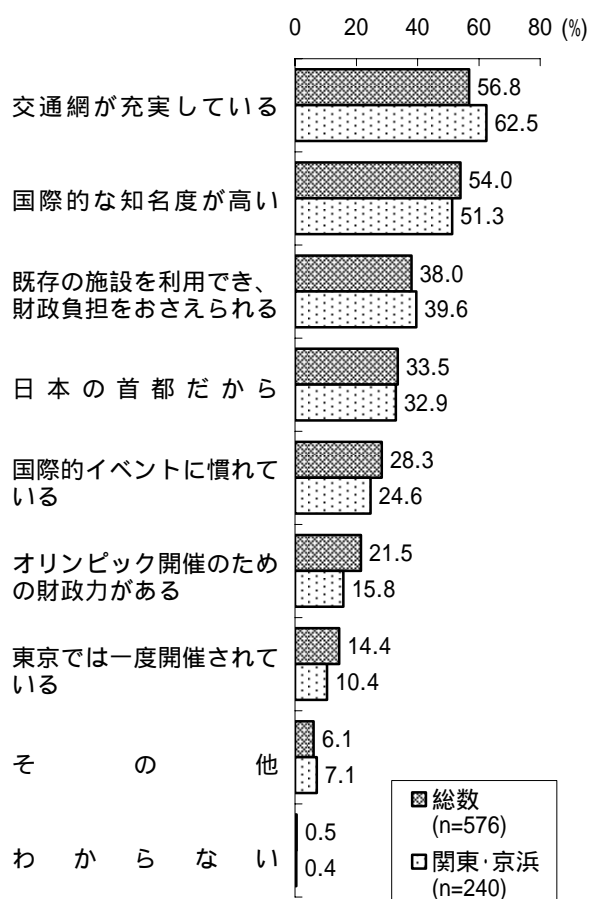


3) 東京都と福岡市のそれぞれがふさわしい理由

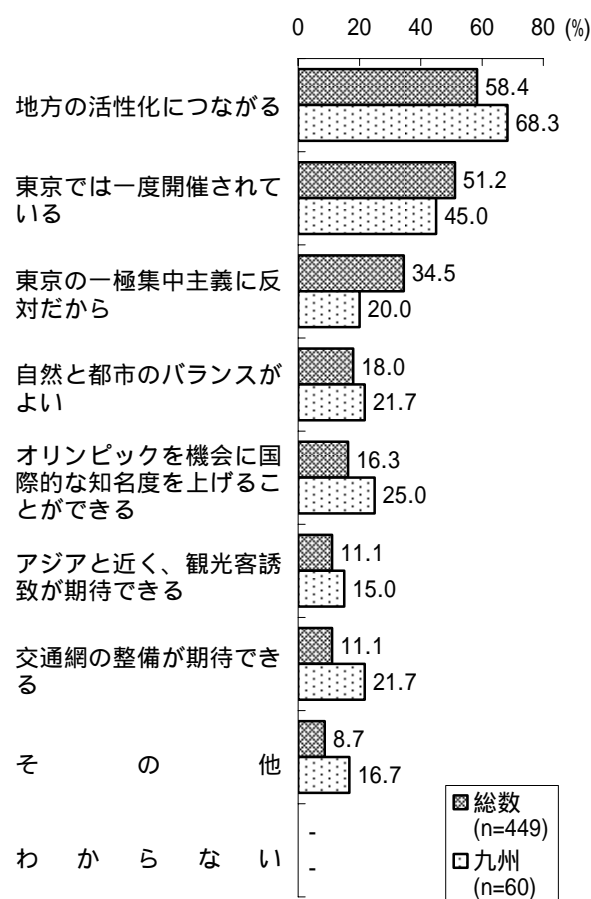
- ・東京都がふさわしいと答えた人にその理由を聞いたところ、「交通網が充実している」(57%)、「国際的な知名度が高い」(54%)が主な理由。
- ・福岡市がふさわしいと答えた人にその理由を聞いたところ、「地方の活性化につながる」(58%)、「東京では一度開催されている」(51%)が主な理由。地元九州では「地方の活性化につながる」と期待する人の割合が、全国平均と比べ10ポイント高い。

質問：（東京都がふさわしいと答えた人に）東京都がふさわしい理由は何ですか。
 （福岡市がふさわしいと答えた人に）福岡市がふさわしい理由は何ですか。

【東京都がふさわしい理由】



【福岡市がふさわしい理由】



(調査の設計・方法など)

(1) 調査地域	全国
(2) 調査対象	満18歳以上の男女個人
(3) 標本数	2,052
(4) 抽出方法	層化二段無作為抽出法
(5) 調査方法	調査員による個別面接聴取法
(6) 調査時期	2006年7月7日(金)～10日(月)
(7) 有効回収数	1,411

(属性別回収内訳)

	回収数	構成比
(1) 地域別		
北海道	69	4.9%
東北	111	7.9%
関東・京浜	444	31.5%
甲信越・北陸	100	7.1%
東海	163	11.6%
近畿・阪神	230	16.3%
中国・四国	128	9.1%
九州	166	11.8%
(2) 性別		
男性	685	48.5%
女性	726	51.5%
(3) 年齢別		
18～19歳	32	2.3%
20～29歳	154	10.9%
30～39歳	261	18.5%
40～49歳	211	15.0%
50～59歳	326	23.1%
60歳以上	427	30.3%

問い合わせ先

〒104-0061 東京都中央区銀座6-16-12 丸高ビル
社団法人 中央調査社(会長 若林 清造)
TEL 03-3549-3121
FAX 03-3549-3126
E-mail: office@crs.or.jp
http://www.crs.or.jp

担当 調査部 幸村